



IT、で、エコ

NEC 田んぼ作りプロジェクト

with アサザ基金

NEC

2012年度活動報告

2012年度の活動概要

■ 活動の主旨と目的

NECグループでは、「人と地球にやさしい情報社会の実現」をグループビジョンに掲げ、その基盤作りのためにさまざまな活動に取り組んでいます。

NEC田んぼ作りプロジェクトは、環境意識啓発活動・生物多様性保全への取組、及び、社員参加型地域貢献活動「NEC Make-a-Difference Drive」の一環として、認定NPO法人アサザ基金との協働でNECグループ従業員とその家族を対象に2004年度より実施しています。

稲作からお酒造りまでの一年を通じた自然体験参加型プログラムを提供することで参加者が直接自然に触れ、その素晴らしさを感じ、収穫の喜びを分かち合うことによって「モノ作り」の原点を実感していただくと共に、NECが有する「IT・ネットワーク技術」技術を活用して生態系観測や生物多様性保全に貢献する「生態系・生物多様性ソリューション」の開発・実証を目指しています。

■ 9年目の活動概要と今後について

2012年度も2カ所のフィールド(茨城県石岡市、茨城県牛久市)で合計10回のイベント(田植え、稲刈り、脱穀など)と達人コースを実施し、ボランティアを含め約900名(9年間の累計:約1万名)の参加者がありました。お米は2カ所のNEC田んぼで合計1,200kgを収穫でき、新酒“愛酊で笑呼”(IT、で、エコ)が1,850本分(1本720ml換算)できあがりました。

牛久の谷津田では、農業機械国内最大手の(株)クボタ殿が取り組んでいる社会貢献活動「クボタeプロジェクト」の協力を得て、約1500㎡を復田し、再生を始めてから3年で約23,000㎡のうち、約6,500㎡を再生(うち耕作面積は約3,200㎡)しました。耕作面積が広がったため、開けた水面を好むシオカラトンボの数は爆発的に増えています。【2010年2匹→2011年42匹→2012年115匹(アサザ基金調査結果による)】

また、「トキの餌量調査」も定期的に行っています。トキ1羽が年間に食べる餌量は約75kgとされています。2012年度の調査では12.7kgでした。トキが暮らすためにはまだまだ足りません。NECグループでは、トキが棲める環境作りを目指して、これからも復田に加えて、ビオトープ作りや草地作りなどなど、トキの餌となる生きものたちが好む環境考えて、活動を続けていきます。

■ NECとアサザ基金の協働について

認定NPO法人・アサザ基金との協働は2003年度から始まり(NEC田んぼ作りPJは2004年度からスタート)、2013年度で11年目を迎えます。協働当初から最も大切にしてきたのはアサザ基金さんとの「イーブンパートナーシップ」です。両者が独自にもっている専門分野のスキルやノウハウを互いに活かし、新しい社会的価値を創り出すことを強く意識してきました。霞ヶ浦流域の谷津田を再生し、「100年後にトキの野生復帰を」という当初からの目標を共有し続けたことで、当時の荒廃が想像もつかないくらい今では「NEC田んぼ」には命豊かな自然が蘇っています。

田んぼの一年

～4月 田起し～



～5月 田植え～



～6月 トキの餌量調査(毎月)～



～7月 草取り&ホテル観賞～



～7月 草取り&ホテル観賞～



～9月 リッツオウ作り～



～10月 稲刈り～



～11月 脱穀～



～1月 酒仕込み神事～



～2月 クボタeプロジェクト～



～2月 復田(草刈り)～



～3月 新酒蔵出し～



2013年度のNEC田んぼ作りプロジェクト年間スケジュール(予定)

◆=メインイベント ★=達人コース(メインイベントの他に自主的に農作業を楽しみたい方向けのプログラム)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東田中	★種まき ★田起こし ★くろぬり	★代掻き ◆田植え	★一の草 ★二の草 ★畦手入れ		★畑手入れ		◆稲刈り	★脱穀	★堆肥作り ★縄づくり	◆酒仕込み ★仕込み体験	★堆肥管理	◆新酒蔵出し
上太田	★除根、畦作り ★苗床作り、田起こし	★代掻き	★田植え① ★田植え② ★一の草	★二の草 ◆草取り	★三の草	★竹取り ★稲刈り①	★脱穀① ◆稲刈り②	◆脱穀② ★復田作業①			★復田作業② ◆復田	★復田作業③
※生物調査(1回/月)												



(トウキョウダルマガエル)



(ニホンアマガエル♀)



(ニホンアカガエル♀)



(アキアカネ)



(ナツアカネ)

気象観測装置 (ウェザーバケットの紹介)



NEC田んぼでは周辺の環境変化をモニタリングするために太陽電池で駆動するセンサーを設置し、温度や水温など7種類のデータを10分単位に測定しています。

本製品は、NEC-NETグループの(株)エヌイーシーの製品です。製品の詳細については、下記ホームページをご覧ください。

<http://www.hotweb.or.jp/bucket/>

「愛酏で笑呼」の活用

営業での拡販支援ツールや支社のイベント等を通じて「愛酏で笑呼」をお客様に楽しんで頂いています。社員の環境意識啓発活動によって作られた純米原酒は、大変評判が良く、プロジェクトの取組に対する評価と共にお褒めの言葉も多く頂いています。またラベル貼りや冊子作りは、障がい者支援施設「あけぼの荘」の皆さんにお手伝い頂いています。



お酒の名前「愛酏で笑呼(あいていでえこ)」は、“お酒”で“酔い”を楽しみ、みんなに“笑顔(幸せ)”を呼び込みたいという思いを込め、NECの環境コンセプトである「IT、で、エコ」にちなんで命名しました。

その他のNECグループにおける生態系・生物多様性保全活動の紹介



(↑)NEC本社ビル近くの芝公園での花壇整備

NEC本社ビル周辺に生息していた、準絶滅危惧種の植物「マツバラ」の保護活動(↓)



(↑)NEC府中事業場近くの浅間山(せんげんやま)での里山保全活動(間伐)

NEC我孫子事業場敷地内での生物調査(水生生物分類分け体験)(↓)



この他にも、NECグループではグローバルに生物多様性保全活動をおこなっており、2012年度は約6,700名の社員とその家族が活動に参加しました。

【ジュニア達人から届いた作品(↓)】

～品質本位 特別純米～ 童平



～ぼく、かっぱ、いつもみんなのそばにいるよ。～ 小花



～西暦2103年 東田中のある田んぼ その日、トキが来た。～ 社平



【活動にご支援頂いている皆様】

認定NPO法人アサザ基金
白菊酒造(株)、(株)小倉味噌店
茨城県石岡市東田中地区の皆様
茨城県牛久市上太田地区の皆様
障がい者支援施設 あけぼの荘の皆様

日本電気株式会社

〒108-8001 東京都港区芝五丁目7番1号
発行: 2013(平成25)年4月
お問合わせ先: CSR・環境推進本部 CSR・社会貢献室
E-mail: sco@csr.jp.nec.com
TEL: (03)-3798-9555(ダイヤルイン)
FAX: (03)-3798-3923

▶NEC田んぼ物語モバイルサイト

▶NEC田んぼ物語ホームページ
<http://jpn.nec.com/eco/ja/life/education/tanbo/index.html>

